

**山陰防災フォーラム2017年秋の講演会
島根大学ユネスコチェア探択記念講演会**

時間：平成29年11月26日（日）14：00 - 17：30
場所：島根大学総合理工学部3号館210室 多目的ホール

**採択された
島根大学ユネスコチェア「自然災害軽減」
について**
UNESCO Chair on Geoenvironmental Disaster Reduction in Shimane University

汪 発武

島根大学大学院総合理工学研究科地球資源環境領域
島根大学自然災害軽減プロジェクトセンター




Application for UNESCO Chair

Geoenvironmental Disaster Reduction
Improving the Relationship between Geoenvironment and Society

**地質環境と社会の関係を改善するための
地質災害軽減**

Shimane University, Japan
International Consortium on Geo-disaster Reduction

5 April 2017

ユネスコの主な事業



Building peace in the minds of men and women.

主な事業：
世界遺産(1972年発足。2017年の条約締約国は193か国、世界遺産の登録数は1,073件(167か国)となっている)
UNITWIN・ユネスコチェア(1992年発足。116か国の700以上の教育・研究機関が加盟している)
世界ジオパーク(2015年11月に、ユネスコの正式プログラムとなった。2017年5月現在、世界35カ国、127地域にユネスコ世界ジオパークがある。)

国際連合教育科学文化機関 (United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization, UNESCO) ユネスコは、国際連合の経済社会理事会の下におかれた、教育科学、文化の発展と推進を目的とした専門機関である。1946年11月4日に設立、ユネスコ加盟国は195か国である

UNITWIN/UNESCO Chairs Programme



1992年に発足され、現在116か国の700以上の教育・研究機関が加盟している。大学間国際協力の推進とネットワーク構築を推進し、知識共有と共同研究を通して、各大学の實力を強化する。



Launched in 1992, the UNITWIN/UNESCO Chairs Programme, which involves over 700 institutions in 116 countries, promotes international inter-university cooperation and networking to enhance institutional capacities through knowledge sharing and collaborative work. The programme supports the establishment of UNESCO Chairs and UNITWIN Networks in key priority areas related to UNESCO's fields of competence - i.e. in education, the natural and social sciences, culture and communication.

どうして
 島根大学に
 UNESCO Chair
 ?

洪水の危険度の高い地域

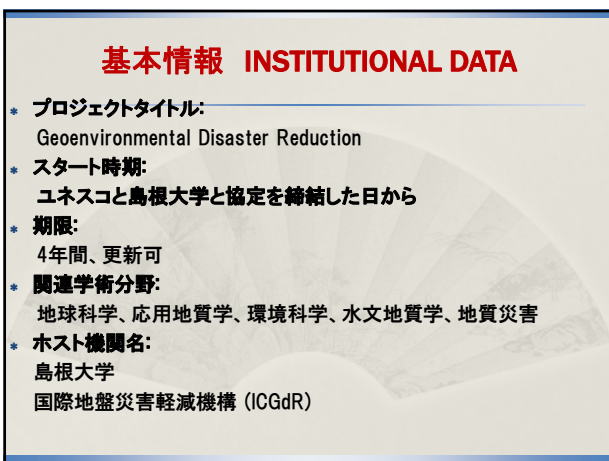
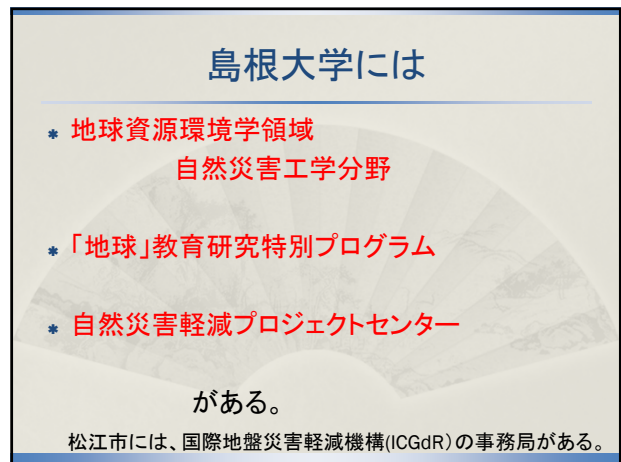
平成18年7月松江洪水災害



鍛冶橋付近



北田町



基本情報 INSTITUTIONAL DATA

Funding sources - organizations, bodies, and amount

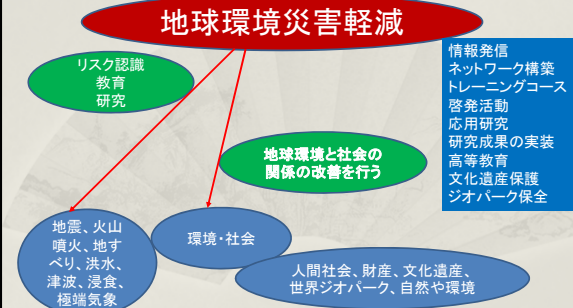
In cash

- 島根大学における自然災害研究の関連経費(科研費、大学重点研究経費)、4年間、1億円程度を受け入れ予定。
- ICGdR から400万円程度。
- その他寄付金。

In kind

- 島根大学の自然災害関連の施設、設備、自然災害軽減プロジェクトセンター構成員の人的費、合わせて約1億円。
- 世界中の31大学・研究所(そのほとんどはICGdRの会員)は会議室、講義室、研究設備を提供する。総額は18億円。

申請概要 Summary of the project



申請の目的 Objectives

長期的目標:

- リスクの軽減のための施策や行動を支えるために、地球環境における災害リスクの認識、教育・研究を促進することである。

地震、火山噴火による地質災害、そして水-気象災害、地すべりのような地質関連災害に重点を置く。

申請の目的 Objectives

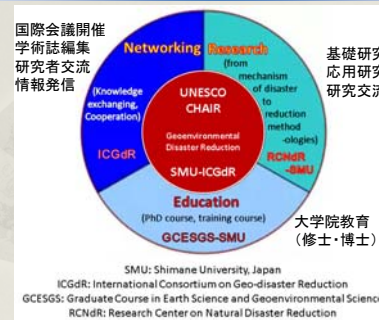
具体的な目標:

- 地球環境災害の防止と軽減のために、**革新的技術の発展**を促進すること;
- 人類の生活の安全のための、リスクの軽減と緊急時の管理を行う**ツールや手順を発展**させること;
- 地球環境災害による、**文化遺産やジオパークの保護**を推進すること;
- ポストドク研究者や客員研究者へ科学的な便宜を図り、**国際レベルへの到達を推進**すること。

行動のタイプ Type of activity

- | | |
|----------------|-----|
| * 大学院生の教育プログラム | YES |
| * 研究者・院生短期間の訓練 | YES |
| * 研究 | YES |
| * 訪問研究員制度 | YES |
| * 奨学金 | YES |

実施戦略一どのようにプロジェクトを進めるか Implementation strategy - How the project will be implemented

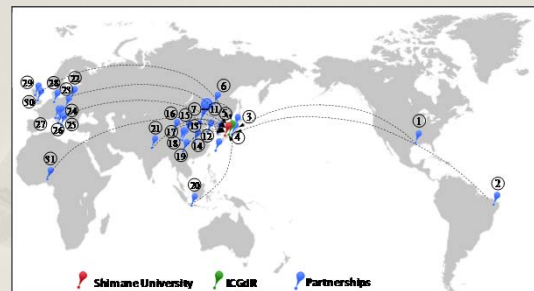


実施戦略—どのようにプロジェクトを進めるか Implementation strategy – How the project will be implemented

管理運営

- ✓ 管理運営は島根大学と国際地盤災害軽減機構と合同の委員会で行われる。島根大学自然災害軽減プロジェクトセンターはその事務局を勤める;
- ✓ 学術的な管理・企画はチェアの保持者とその助手陣、客員教授およびパートナー組織の代表者による委員会で行われる;
- ✓ 審査等は島根大学の管理運営評価により行われる;
- ✓ 会計監査は外部の第三者により行われる。

PARTNERSHIPS/NETWORKING



PARTNERSHIPS/NETWORKING



協力機関 Cooperation organizations

- 1) NGO法人
カナダ災害管理研究所(WIDM)
- 2) 民間企業
 - 株式会社日本海技術コンサルタンツ
 - 島建コンサルタント株式会社
 - 株式会社大陸設計
 - 株式会社大田技術コンサルタント
 - 株式会社ワールド測量設計
 - 株式会社コスモ建設コンサルタント
 - 株式会社ウエスコ
 - 株式会社藤井基礎設計事務所

申請機関内による支援

本プロジェクトは以下によって承認されている:

- * 島根大学学長
- * 島根大学理事・副学長(学術研究担当)
- * 島根大学理事・副学長(教育担当)
- * 島根大学副学長(国際交流担当)
- * 島根大学総合理工学研究科長・学部長
- * 「地球」教育研究特別プログラム運営委員長
- * 国際地盤災害軽減機構会長

得られた支援 SUPPORT

関連ユネスコチェアによる支援

- * 地球科学的・水文学的ハザードの防災と持続可能な管理に関するユネスコチェア責任者、Dr. Paolo Canuti (イタリア・フィレンツェ大学)。

ユネスコによる支援

- * 本プロジェクトはパリのユネスコ事務局にある自然科学部生態学および地球科学分野と自然科学部門水科学分野の支援を受けている。

得られた支援 SUPPORT

日本政府機関による支援

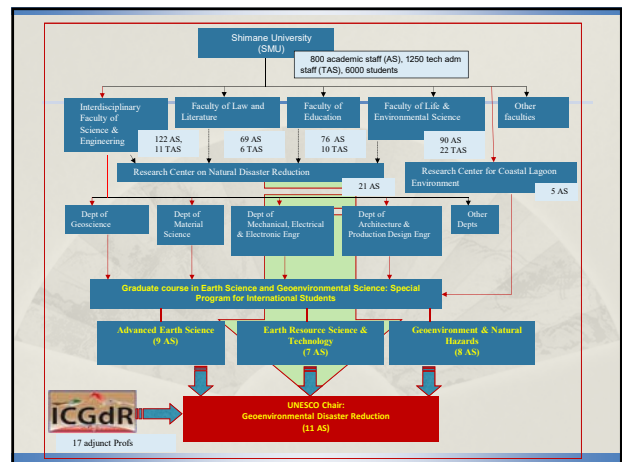
- 文部科学省がこのユネスコチェア申請を支持している。
- 島根大学所在の中国地方を管理している国土交通省中国地方整備局がこのユネスコチェア申請を支持している。

日本ユネスコ国内委員会による支援

- 本プロジェクトは日本ユネスコ国内委員会の審査を受け、推薦を受けている。

ユネスコチェアの組織

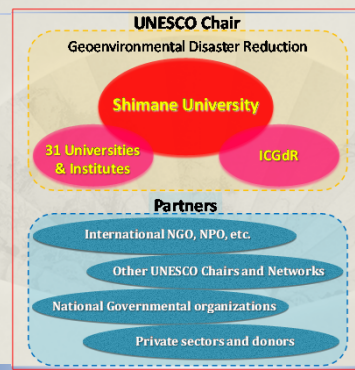
- ユネスコチェア議長
- ユネスコチェア構成員: 地球環境災害研究に携わる島根大学の常勤スタッフ: 教授5名、准教授/講師3名、およびICGdRの連携組織からの教授17名。
- ユネスコチェアの研究補助者: 助教3名、チェアに専属する少なくとも1名の特任助教を予定している。
- 他の研究補助者および学術上の協力者
- 地球環境災害軽減に携わる島根大学の全構成員(上記の構成員を除く): 研究員2名、技師1名、ポスドク研究員2名、博士後期課程大学院生6名、博士前期課程大学院生10名、事務職員1名



Adjunct Professors 兼任教員



ユネスコチェアとパートナーシップ



教育担当



研究担当

国際交流担当



採択通知(2017.8.15)

Subject: Project Proposal for a UNESCO Chair on "Geoenvironmental Disaster Reduction: Improving the Relationship between Geoenvironment and Society"

• Attn.: **Mr Kazuaki Kawabata Secretary-General, Japanese National Commission for UNESCO**

• Dear Sir,

I am pleased to inform you that the proposal for the establishment of a UNESCO Chair on "Geoenvironmental Disaster Reduction: Improving the Relationship between Geoenvironment and Society" at the Shimane University has been favourably evaluated by the Selection Committee.

The draft standard Agreement between UNESCO and the Shimane University to formally establish the Chair will be prepared in September. We will send to you the text on the provisions of Article 2 of this Agreement presenting the objectives of the Chair, once it is ready for the President's approval.

I look very much forward to a fruitful collaboration with the Shimane University.

• Yours faithfully,

• Peter Wells

• Chief / Section of Higher Education, UNESCO/ 7 Place de Fontenay, 75352 Paris 07 France